

特別解説

IFIAR（監査監督機関国際フォーラム）が公表した検査報告書

はじめに

IFIAR(International Forum of Independent Audit Regulators) 監査監督機関国際フォーラム)は、2025年における加盟機関の検査結果およびプログラムに関する第14回年次調査を実施し、その概要と結果を2026年4月1日付で公表した。この調査は、グローバル公共政策委員会(以下「GPPCネットワーク」)を構成する6つのグローバル監査ネットワークに加盟する監査事務所(注)に対する加盟機関による個別の検査結果に関するデータを収集したものであり、2015年から毎年実施されている。この調査の目的は、監査品質の変化を実証的にあるいは統計的に有意に測定することではなく、共通の監査上の不備とその時系列の傾向を明らかにし、規制当局、監査事務所ネットワーク、その他の監査品質に

関する利害関係者との間で議論すべき領域を特定するためのIFIARの取組みに役立てることであるとされている。

そして、グローバルで一貫して高品質な監査を実施するという共通の目標のもと、IFIARは加盟機関の検査プログラムの結果に関する透明性を関係者に提供するために、年次検査結果調査の結果を公表している。

(注)BDO International Limited、Deloitte Touche Tohmatsu Limited、Ernst&Young Global Limited、Grant Thornton International Limited、KPMG International Cooperative、PricewaterhouseCoopers International Limitedによって構成されている。

IFIARとは

IFIARは監査業界から独立した監査規制機関の会員組織であり、本部は東京(大手町)にある。IFIARの会員にはアフリカ、北米、南米、アジア、オセアニア、ヨーロッパの56の監査規制機関が含まれている(我が国は金融庁が会員)。IFIARは以下の活動に重点を置いている。

- 進化する監査環境に関する知識と独立した監査規制活動の実践経験の共有
- 規制活動における協力と一貫性の促進

- 監査品質に関心を持つ他の国際機関との対話のための基盤の提供

IFIARを通じて監査規制当局は、監査品質の動向と課題に関する理解と評価を調整しようとしている。IFIARの活動は、加盟法人がグローバルレベルで議論された様々な課題をそれぞれの管轄区域内の加盟法人と評価することを可能にする。IFIAR加盟者間での視点や経験の交換は、財務報告に対して期待される信頼性を提供